

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

企業会計
水道事業会計

事務事業番号	款	項	目	担当部署	事業の評価	ページ
	事業名					
	資本的支出	建設改良費	新設工事費			
01010101	新設事業			水道課	A	452
	資本的支出	建設改良費	改良工事費			
01010202	改良事業			水道課	A	453
	資本的支出	建設改良費	量水器施設費			
01010303	量水器施設事業			水道窓口課	A	454
	資本的支出	建設改良費	固定資産取得費			
01010604	固定資産整備			錦多峰浄水場	A	455

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号 01010101

事業名		新設事業		担当部署	上下水道部 水道課						
根拠法令		水道法									
令和4年度決算額		169,412	千円	項目評価		総合評価 A					
財源内訳	国道支出金	36,676	千円								
	地方債	106,401	千円								
	その他	13,860	千円								
	一般財源	12,475	千円								
事業費（総計）		169,412	千円								
決算額		169,412	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		新築住宅への給水など市民ニーズに対応するため配水管の新設を進めるほか、災害時における応急給水体制拡充のため緊急貯水槽を設置します。また、消防本部の要請に基づき消火栓の整備を図ります。									
事業の内容		<ol style="list-style-type: none"> 配水管の新設 ウトナイ北に新たに配水管を布設しました。 緊急貯水槽の新設 避難所に指定されている樽前小学校、北星小学校に新たに緊急貯水槽を設置しました。 消火栓の新設（負担金事業） 拓勇東町、北栄町に新たに消火栓を設置しました。 									
SDGs17の目標											
		【水道管の布設状況】		【緊急貯水槽の設置状況】		【消火栓の設置状況】					
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		給水普及率			%	99.96	99.96	99.96			
		緊急貯水槽整備率			%	100	88.24	82.35			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							配水管の新設によって市民の利便性向上につながります。また、緊急貯水槽や消火栓を設置することで、災害時等における応急給水活動や消火活動の円滑化につながります。		
効率性			●						市街地開発にあわせて配水管を整備していることで、安定的な水道利用が見込まれます。また、緊急貯水槽や消火栓を適正に配置することで、災害時等の応急給水活動や消火活動を効率的に実施することができます。		
公平性		●							本事業の実施により水道水利用の市民ニーズに応えられるほか、災害時等における飲料水の確保及び消火活動の迅速化が図られることから、広く市民の利益につながります。		
将来性		●				本事業は、安全・安心な市民生活に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があります。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、市民ニーズに応えることや災害時等における応急給水活動及び消火活動を効率的に実施するために重要であることから、今後も継続的に取組を進めてまいります。					
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号 01010202

事業名		改良事業		担当部署	上下水道部 水道課						
根拠法令		水道法									
令和4年度決算額		1,475,964	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	100,005	千円								
	地方債	1,276,099	千円								
	その他		千円								
	一般財源	99,860	千円								
事業費（総計）		1,475,964	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>							
決算額		1,475,964	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		老朽管は管路内の錆等により濁水が発生しやすくなるほか、耐震性の低い管は地震被害を受けやすいため、耐震化することにより安定した給水を確保します。また、水道施設の耐震化により地震被害を最小限に抑制することで、災害発生時においても、継続的に配水できる水道システムを構築します。									
事業の内容		<ol style="list-style-type: none"> 老朽管の更新 一本松町、ウトナイ北、糸井地区等の老朽管を耐震管に更新しました。 老朽施設の更新 高丘浄水場の機械設備、電気設備等の老朽機器を更新しました。 									
SDGs17の目標											
		【老朽管の更新】		【機械設備の更新】		【電気設備の更新】					
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		老朽水道管の更新率			%	94.67	90.86	89.01			
		水道施設の耐震化率			%	84.21	84.21	84.21			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							老朽管や老朽施設の更新により、安全・安心な水道水を安定的に供給することができます。		
効率性			●						経営戦略及び新水道ビジョン実施計画に基づき、優先順位を定めながら計画的かつ効率的に実施しています。		
公平性		●							本事業の実施により水道システム全体の機能が維持されているため、広く市民の利益につながります。		
将来性		●				本事業は、安全・安心な市民生活に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があります。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、水の安全性・安定性を維持していくために必要な事業であることから、今後も計画的かつ効率的に取組を進めてまいります。					
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号 01010303

事業名		量水器施設事業		担当部署	上下水道部 水道窓口課				
根拠法令		計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則							
令和4年度決算額		438,052	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	438,052	千円						
事業費（総計）		438,052	千円						
決算額		438,052	千円						
人件費		0	千円						
事業の目的		水道使用者への料金請求根拠となる水道使用量を計量するため、計量法で定められた検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）の取替え、工事に必要なメーターの購入、家屋の新築等に伴う貸付けに必要な新設メーターの購入を目的としています。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 【検満メーター取替工事】 計量法で定められた水道メーターの検定有効期限（8年）を迎える貸付け水道メーター（11,935箇所）の取替工事を実施しました。 【検満メーター購入】 上記検満メーター取替工事に必要となる貸付け用の水道メーター11,935個購入しました。 【新設メーター購入】 家屋の新築等に伴い、購入した水道メーター1,179個を貸付けしました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		検満メーター取替工事			箇所	11,935	11,562	11,857	
		検満メーター購入数			個	11,935	11,562	11,857	
		新設メーター購入数			個	1,179	1,177	1,065	
項目評価		高 → 低			評価の理由				
		4	3	2	1				
有効性		●				水道メーターは、水道料金の根拠となる水道使用量を計量するための重要な器具であり、計量法に基づく定期的な交換及び、家屋の新築等に伴い水道メーターを貸付けすることは、水道事業にとって必要不可欠です。			
効率性		●				検満により交換するメーター数は、年度ごとに大きな差が生じないよう平準化を行っており、効率的に実施しています。			
公平性		●				水道メーターは、計量法に基づく定期的な交換工事により公平かつ公正な水道料金の徴収につながっています。			
将来性		●				水道メーターは、水道料金の根拠となる水道使用量を計量する重要な器具であることから、計量法に基づき継続的に事業を執行する必要があります。			
総合評価		A			本事業は、水道事業の根幹である料金収入に直結しており、計量法に基づく検満メーターの取替工事及び、新築等に伴う新たな水道メーターの貸付けは、継続的に実施する必要があります。				
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号 01010604

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 錦多峰浄水場						
根拠法令		水道法									
令和4年度決算額		578	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	578	千円								
事業費（総計）		578	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>							
決算額		578	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		水道水の安全性の確保を図るため、水質検査に必要な固定資産の整備を計画的に行います。									
事業の内容		<p>1 水質検査に必要な機器の更新</p> <p>(1) 固相抽出用前処理システム 1台 水道水から水質検査対象物質を抽出するための機器</p> <p>(2) レーザー高感度濁度計 1台 水道水の濁度及び水道水に含まれる微粒子の数や大きさを測定するための機器</p>									
SDGs17の目標											
		<p>【レーザー高感度濁度計】</p>		<p>【固相抽出用前処理システム】</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		機器・装置の整備			台	2	4	7			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							機器の更新により水質検査が適正に行われるため、水道水の安全性を持続的に確認することができます。		
効率性		●							各種機器類については老朽化の度合いを確認しながら、計画的かつ効率的に更新を実施しています。		
公平性		●							水質検査に必要な機器を更新することにより、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給することができるため、広く市民の利益につながります。		
将来性			●			本事業は、安全・安心な市民生活に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があります。					
総合評価		A				項目評価のとおり、目的に適った固定資産の整備ができています。本事業は、水道水の安全性を確認するために重要であることから、今後も計画的かつ効率的に取り組を進めてまいります。					
特記事項											